



**Q** 教職大学院を修了するとどのようなメリットがありますか。

**A**

- ・教職修士の学位が授与され、専修免許状が取得できます（詳細は前のページをご覧ください）。
- ・修了後も大学教員や修了生のネットワークがあり、教員生活を送る上で心強いものになっています。
- ・給与面でメリットがあります。佐賀県公立学校の場合、初任給（基本給）で大学院卒は学部卒と比較して20,000円/月高くなっています。ボーナスでも基本給が反映しますので、年間の支給額では、初年度約29万円高くなります。

**Q** 教職大学院では、教員採用試験に向けてどのように対応していますか。

**A**

- ・教員採用100%を目指して小論文指導や模擬授業、面接などの教員採用試験対策講座を行っています。教科によっては、専門試験の相談にも応じています。また、他県の採用試験にも対応しています。さらに修了時に正規採用が決まっていなかった学生には、修了後も継続的にサポートをしています。

**Q** 教職大学院に進学すると教員採用試験に向けて何か優遇されることがありますか。

**A**

(1)教員採用試験合格者への採用猶予制度（特例申請）

- ・学部卒時または大学院在学中に採用試験に合格した場合、名簿記載期間が大学院修了まで最大2年間延長されます。令和4年度は7名が利用しています。手続き方法は各自治体の教員採用試験の実施要項で確認してください。

(2)教員採用試験推薦制度や優遇措置

- ・佐賀県の採用試験では大学院推薦制度があり、合格した場合は第1次試験が免除されます。その他、自治体によって様々な優遇措置があります。詳しくは各自治体にお問い合わせください。

(3)教員採用試験での加点制度

- ・佐賀県の採用試験では専修免許保有者は第1次試験で加点があります。



### 学費・就学支援

- 入学金…282,000円（予定） ●授業料…年額 535,800円（予定）
- 学費等の免除 入学金の免除…該当する学生は選考により、入学金の全額または半額が免除される制度（佐賀大学独自の制度）の適用が可能です。授業料の免除…該当する学生は選考により、授業料の全額または半額が免除される制度（佐賀大学独自の制度）、徴収猶予、月割分納の適用が可能です。
- 奨学金制度 日本学生支援機構の奨学金制度（予約採用、在学採用）を利用できます。\*佐賀大学独自の制度を含めた学費等の免除、奨学金制度については、佐賀大学ウェブサイトの各ページをご覧ください。



学費等免除



奨学金

**就職実績** 学部卒の学生の教員就職率は開設以来100%です（2021年度末現在）。

修了年度	2017年修了	2018年修了	2019年修了	2020年修了	2021年修了	合計
小学校	4	3	4	2	4	17
中学校	6(社2数1英2体1)	5(数2理1体2)	4(社1数2理1)	6(国1社1数2体2)	2(理1英1)	23
高等学校	1(体1)	2(体2)	2(国1体1)	1(英1)	2(日1化1)	8
特別支援	0	0	0	1	0	1
修了人数	11	10	10	10	8	49

### 入試情報・問い合わせ先など

毎年8月頃に入試説明会を行っております。詳しくは、佐賀大学ウェブサイト「受験生の方へ—大学院入試」をご覧ください。

#### ◆入学者選抜について

入学者の選抜は筆記試験、口述試験及び出願書類審査の結果を総合して合否を判定します。

- ①筆記試験 ●学校教育に関する総合的な問題
- ②口述試験 ●教育実践に関する場面指導及び面接
- ③出願書類 ●志望理由書 ●実践研究計画書 ●教育実践研究業績書、活動報告書等



入試

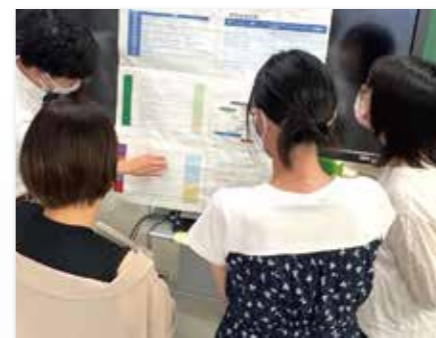


〒840-8502 佐賀県佐賀市本庄町1番地  
佐賀大学大学院学校教育学研究科事務室  
Tel.0952-28-8213

時代に対応した高度な実践力とリーダーシップを発揮できる教員を養成

# 佐賀大学教職大学院 (学校教育学研究科)

教職大学院は、「教育の専門家」を養成する専門職大学院です。佐賀大学の教職大学院には、学部卒の教職志望者と佐賀県から派遣された現職教員の学生が在籍しています。学部卒の学生は、学級経営や子どもとの関係づくりなど、学部レベルでは教わることの少ない学校の現実的課題に対応する実務能力を身につけ若手リーダー教員となることを、そして現職教員の学生は1つの教室に留まることなくより高度な能力をより広い視野から身につけ、学校全体のリーダー教員となることを、それぞれ目指しています。



### 教育と運営の特色

- 佐賀県および県内市町教育委員会と連携しながら教育・運営に当たっています。
- 教育分野の研究者教員と教育実績豊富な実務家教員が授業を担当します。
- 理論と実践を往還させながら高度な実践力を育成します。
- 演習を中心とした授業や学部より長い実習といった実践力向上のためのカリキュラムとなっています。（2年間で400時間の実習で実践的指導力が身につきます。）
- 学部卒の学生は、1つの学校で2年間実習を行い、自分の関心のあるテーマについて深く学ぶことができます。
- 現職教員の学生は、教育センター等の関係機関や所属と異なる校種での実習などを通して、教員としての専門性を広げることができます。
- 学部卒の学生と現職教員の学生が協働的に学び合い実践力を高めています。
- 教員採用試験の合格に向けた支援も充実しています。



## 専門職学位課程・教育実践探究専攻

(定員20名/年,※現職派遣教員を含む)

### 授業実践探究コース

### 子ども支援探究コース

### 教育経営探究コース

## 授業実践探究コース

本コースでは、2年間の学修で理論と実践の往還を図りながら、カリキュラムの編成、授業実践と学習評価の改善・開発によって新たな授業デザインができる教員を養成します。理論面では、「授業実践の研究」、「学力と学習評価の研究」、「教科教育の理論と実践」などのコース専門科目を学修します。実践面では、自ら設定した課題を探究するために、「探究実習」を行い、研究の成果を明らかにしていきます。



#### 修了者のメッセージ



#### 武藤 理紗子

2018年度修了  
佐賀大学理工学部出身  
中学校・数学

教職大学院の魅力は、同じ教員を目指す仲間、現職教員の学生、現場経験のある教授など多くの人と関わりをもつことができることです。卒業後も授業づくりや生徒指導についての相談や情報共有ができ、自分の指導力向上に繋がっています。また、実習では長期間にわたり学校現場で実習できることも魅力の1つです。



#### 中山 友輔

2021年度修了  
崇城大学工学部出身  
高校・化学

私が他大学から受験した理由は、教育の専門性を高めるためでした。大学では、化学を専攻していたので、深く教育について学ぶことができませんでした。教員として仕事をするためには、教育の専門性を高める必要があると考えて、受験をしました。教育についてもっと学びたい人にお勧めです。

## 子ども支援探究コース

生徒指導・教育相談系と特別支援教育系の2つの系があり、専門科目と2年間の実習を通して、子ども支援の実践力を高めることをめざします。両方に共通するコース科目では、子ども理解や特別な教育支援ニーズのある子どもへの具体的な関わり方などを学びます。生徒指導・教育相談系では、教育心理学・生徒指導・教育相談を重点的に学びます。特別支援教育系では、特別支援教育に関する深い知識と実践力を身につけその専門性を高めることを目指します(特別支援学校専修免許状の取得を希望する人は、入学までに特別支援学校一種免許状を取得した上で、特別支援教育系に所属する必要があります)。

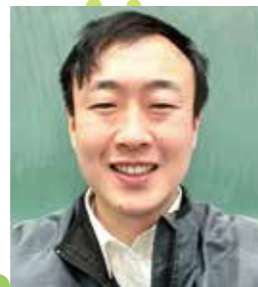
#### 修了者のメッセージ



#### 古閑 美保子

2017年度修了  
福岡女学院大学人間関係学部出身  
小学校

「あの2年間があって良かった」とふと思うことがあります。子どもたち一人ひとりの良さをどう伸ばしていくのか専門的な見方を知ることができたことを、今でも感謝しています。また、様々な校種の院生と学ぶ時間も教職大学院ならではの魅力だと感じます。院での2年間は、実践力だけでなく理論と向き合うことで得たものが大きかったと思います。



#### 鬼崎 皇太

2022年度修了  
佐賀大学教育学部出身  
高校・日本史

現場では、「そのような行動をするのは何故だろう」「どうすれば学習や活動に意欲的に取り組めるだろう」といった様々な課題に直面します。このコースで学んだことで、生徒を多面的に捉え、多様な指導・支援の仕方を考えられるようになりました。また、教員採用試験に向けて先生方が手厚く指導してくださいます。校種の違う現職教員の学生と同じ志をもつ学部卒の学生が学ぶ教職大学院は、自分自身の教育観を見つめなおす機会にもなりました。

## 教育経営探究コース

本コースでは、1年次に「教員間の協働づくり」、「学校組織マネジメント」、「リーダーシップ」など学校経営上必要とされる事項や、コミュニティ・スクールや「総合的な学習(探究)の時間」等を通じた地域との連携協働の意義や課題について体系的に学び、そこで自ら設定したテーマに基づき2年次「学校変革試行実習」において学校経営改革を実践します。これらを通してスクール・リーダーとして必要な能力を養成します。



#### 修了者のメッセージ



#### 小嶋 喜美子

2020年度修了  
(現職教員)  
高校・英語

教職大学院では、「生徒の主体的な学び」やそれを実現するための組織づくりに関する様々な教育実践について、多くの理論や先行事例を学びました。長年の経験に基づいて行ってきた自身の実践とそれらを照らし合わせ、当たり前とってきたことを一から見直し、その目的や意義を考える時間を持ってました。2年次には、学んだ理論や実践例を学校現場での実践に還元する機会をいただきました。大学院の先生方、異校種の先生方、そして、世代の異なる学部卒の学生さんたちと議論を交わしながら共に学んだ学生生活は、教員人生の中で、忘れることができない2年間となっています。

## 院生ライフレポートにも注目!!

授業の様子や大学院での過ごし方については、佐賀大教職大学院ウェブサイト「院生ライフレポート」もご覧ください。大学院生が月に1回の頻度で、授業の様子や大学院生活について紹介しています。

## 教職大学院の授業の紹介

- 目標確認科目：自分の関心のある研究テーマを定め、実践の計画や分析を行います。
- 共通必修科目：教育課程や教育実践、生徒指導や教育相談、学級・学校経営、特別支援教育などについて、幅広く学びます。
- 共通選択科目：ICTの利活用やアンケート等を通じたデータ収集・分析方法について学ぶことができます。
- コース専門科目：各コースの目的に即した内容を深く学ぶことができます。  
(例：「授業実践と学習評価の開発」、「発達障害を持つ子どもの理解と支援」、「学校内外連携・協働論」)
- 実習科目：学部卒の学生は1つの学校で、2年間で合計40日以上の実習を行い、研究テーマの実践を中心に教員の仕事について幅広く学びます。現職教員の学生は、1年目は所属校以外の学校や関係機関で実習を行い、2年目は所属校で実践研究を行います。事前・事後指導や大学での検討会等を通じた丁寧な指導も行われます。

### 取得できる教員免許状

取得できる教員免許状は以下の通りです。ただし、専修免許状の所要資格を得ようとする場合は、取得しようとする専修免許状(中学校教諭及び高等学校の専修免許状については、その免許教科)の一種免許状を有することが必要です。

専攻	取得できる免許状	
	種類	教科
教育実践探究専攻	幼稚園教諭専修免許状	
	小学校教諭専修免許状	
	中学校教諭専修免許状	国語,社会,数学,理科,音楽,美術,保健体育,技術,家庭,英語
	高等学校教諭専修免許状	国語,地理歴史,公民,数学,理科,音楽,美術,工芸,書道,保健体育,家庭,情報,農業,工業,商業,英語
	養護教諭専修免許状	
	特別支援学校教諭専修免許状 <sup>(注1)</sup>	知的障害者,肢体不自由者,病弱者 (視覚障害者,聴覚障害者) <sup>(注2)</sup>

(注1)特別支援学校教諭専修免許状は、子ども支援探究コースの特別支援教育に特化したカリキュラム(特別支援教育系)でのみ取得可能です。なお、特別支援教育系の学生が他の専修免許状を取得することは可能ですが、修得すべき単位数が修了に必要な単位数より多くなります。また、特別支援教育系以外の学生が特別支援学校教諭専修免許状を取得することはできません。

(注2)特別支援学校教諭専修免許状の取得にあたっては、「知的障害者,肢体不自由者,病弱者」の領域と「視覚障害者」及び「聴覚障害者」の領域の一種免許状を併せ持つ場合に限り、「視覚障害者」及び「聴覚障害者」の領域についての専修免許状を取得できます。